

事務事業評価(事前評価)シート【令和4年度】

主管課(担当名)	商工労働観光課(観光振興担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	観光客等誘客促進支援事業	事業番号	12865

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9	自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	地域資源を活かし活力と躍動感に満ちたまち	

2 事務事業の目的

目的	本事業を実施することにより、コロナ禍で停滞する観光客など宿泊客の誘客と市中経済の回復を図ることを目的とする。
成果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ観光業の需要喚起。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R2							
	R3							
	R4	①市内の宿泊施設に宿泊する者に対し、商店等において共通して使用できるクーポン券を発行・配布することにより、観光客等の誘客促進と旅行中の消費喚起を促す。②市内への宿泊を伴う観光を目的とした旅行商品を造成する国内の旅行事業者に対して予算の範囲内で補助する。						
	R5	-						
	R6	-						
		(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
事業費と内訳	事業費			41,640			41,640	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			20,820			20,820
		一般財源			20,820			20,820
	人員(人工)			0.5			0.50	
職員費(人員×7,513千円)			3,757			3,757		
総事業費			45,397			45,397		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
維持管理費	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R3)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	クーポン券利用可能登録店舗数	150店舗	-	-
	旅行商品造成件数	25件	-	-

事務事業改善策 (継続事業のみ記入)

①観光客に対しての認知度を高めるため、事前の周知方法を見直し実施する。
 ②コロナ禍の情勢に注視しつつ、募集開始時期を早期に設定し、より多くの商品を造成する。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など

①観光客等の誘客、コロナ禍で停滞する飲食店等の消費喚起に繋がることが期待される。
 ②閑散期に誘客することが出来るので、宿泊施設や飲食店等に対し、一定の経済効果が期待できる。

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ
かなりのニーズがある ニーズはある ニーズはあまりない
 観光関連業者にとってはニーズはある。

イ. 市が実施する必要性
市が実施すべきである 市の実施について検討の余地あり 市以外で実施可能である
 ①すでに市以外で実施している。
 ②補助金を支出する観点からも市が実施すべきである。

ウ. 事業の緊急性
緊急性が高い 緊急性はある 緊急性はない
 停滞する市中経済回復のため、緊急性はある。

エ. 手段の適切性
適切である 現状として妥当である 検討の可能性はある
 現状では妥当である。

オ. 事業の公平性
公平性は高い 概ね公平である 改善の余地はある
 現状では公平である。

カ. 事業の有効性
本事業の有効性が高い 本事業の有効性がある 既存事業と大きな差はない
 域外消費を生み出すことができるため、有効性がある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見
【速やかに実施】
 コロナ禍により厳しい状況に置かれている事業者の取組みをしっかりと後押しし、根室市観光協会と連携を図りながら、引き続き、観光消費の喚起に取組まれない。

イ. アを踏まえ、担当部局の方針
計画どおり着手が妥当 再検討し実施する 着手を延期する
 根室市観光協会と連携を図り、観光客の誘致及び市中経済の回復に努めたい。